

Back Number

本論文は

世界経済評論 2021 年 1/2 月号

(2021 年 1 月発行)

掲載の記事です



世界経済評論 定期購読のご案内

年間購読料

1,320円×6冊=7,920円

6,600円

税込

17%

送料無料

OFF

富士山マガジンサービス限定特典

※通巻682号以降

定期購読
期間中

デジタル版バックナンバー 読み放題!!



世界経済評論 定期購読



☎0120-223-223

[24時間・年中無休]

お支払い方法

Webでお申込みの場合はクレジットカード・銀行振込・コンビニ払いからお選びいただけます。
お電話でお申込みの場合は銀行振込・コンビニ払いのみとなります。

Fujisan.co.jp
雑誌のオンライン書店

「現地採用日本人」の研究 ：在中国日系進出企業における SIEs (self-initiated expatriate) の実相と人的資源管理

兵庫県立大学・大阪商業大学名誉教授 **安室 憲一**



[著者] 古沢昌之 (ふるさわ まさゆき)
近畿大学経営学部教授
[発行] 文眞堂, 2020年3月刊
[判型] A5判・ヨコ組, 201ページ
[定価] 本体3200円+税

会社から派遣されたのではなく、自ら海外に移住し、日系企業に就職している日本人(男女/SIEs)はかなりの数に達している。彼(彼女)らの存在は古くから知られているが、ほとんど研究されたことがない。本書は「現地採用日本人」に関する最初の研究書である。

本書は序章と7つの章で構成されている。序章では、研究の目的・分析視角・研究方法等が示されている。第1章では、旧来型の「本国人か、現地人か」という二項対立的視点を超克した新たな人材オプションとして「現地採用本国人」(SIEs)に着目し、SIEs研究の系譜や概念定義、さらには人的資源としての特性等を論ずる。第2章では、先行研究の議論を踏まえ、本

書の研究対象である在中国日系企業における異文化コミュニケーション摩擦や日本人駐在員の異文化適応問題を取り上げ、バイリンガルでバイカルチュラルな日本人SIEsに日中の文化を架橋する「バウンダリー・スパーナー」としての役割が期待される旨を述べる。第3章は、著者が在中国日系企業に対して実施したアンケート調査に基づき、各社の「言語政策」や「現地採用日本人の雇用」を巡る状況、さらには「SIEsの働きぶり」に関わる駐在員の評価などを明らかにする。第4章では、日本人SIEs(本人)へのアンケート調査結果の分析を行い、彼(彼女)らの「バウンダリー・スパーナー」としての可能性や「キャリア」「職務満足」に関して考察する。第5章は、日本人SIEsに期待される「バウンダリー・スパーニング機能」を規定する要因を探るべく、「個人的要因」(中国語能力や中国文化への精通)と「組織的要因」(人的資源管理)の双方を包含する概念モデル(仮説)を構築し、それを日系企業調査のデータセットを使って検証する。第6章では、駐在員とSIEsの両者へのヒアリング調査を行い、アンケート調査(第3章～第5章)の知見を「修正版グラウンデッド・セオリー・アプローチ」(Modified Grounded Theory Approach: M-GTA)を用いて掘り下げている。そして第7章は、本書の総括として、日本企業への提言と今後の研究課題等を提示している。

次に本書の特徴を述べたい。本書は膨大な数の文献研究からリサーチクエスション・仮説を構築し、それらを定量と定性の両面から検証するという正統派の研究方法を採用している。それが優れた論理展開と説得力を生み出している。また、日本企業の最大の進出先であり、著者の長年の研究フィールドでもある「中国」に焦点を絞り考察していることが強い説得力を持つ。中国の労働事情や企業経営に精通し、国際人的資源管理を知悉している著者ならではの貢献と言える。新しい研究分野にチャレンジしたことを高く評価したい。(やすむろ けんいち)